



NAGASAKI NISHI INFORMATION

第297号

令和6年3月22日 発行

編集責任者 初村 一郎

http://www.nagasaki-nishi.ed.jp

信頼され続ける学校 学びがいのある学校 居場所のある学校

校長室から

令和5年度 終わりにあたって

校長 初村 一郎

ようやく、今年度からコロナの規制が緩和され、従来に近い形で学校生活を送ることができました。保護者、地域の皆様には、本校の教育活動のあらゆる場面でサポートをしていただき、ありがとうございました。これからは前例にとらわれず、変えるべき部分と変えてはならない部分の見極めをしながら、生徒たちがのびのびと活動できるよう支援していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の卒業生は、コロナ禍で多大な影響を受けただけでなく、入試制度変更前の最後の学年でもあり気の毒でしたが、卒業式では凛々しくも立派な態度で臨んでくれた姿に心打たれました。

以下、卒業式式辞の一部を転載することで、令和5年度の終わりを締めくくりたいと思います。

将来、各分野でリーダーシップを発揮し活躍するであろう皆さんには、あえて「フォロワーシップ」の大切さを心に留めておいてほしいと思います。人間一人ひとは、とても無力です。私自身も自分一人では、鉛筆一本すら作ることができません。それでも、なんとかこうして社会の中を生きていくことができています。無力な人間でも、それぞれに得意な分野を持ち、小さな仕事を積み重ねることで、大きな組織を円滑に動かしています。それぞれが「力強い歯車」となり、社会全体を動かす実感をしっかりと持ってほしいと思います。やがて、皆さんが本物のリーダーになることを期待しています。

そして、常に「探究心」を持ち続けてほしいと思います。私たちは、時々「日食」や「月食」という天文現象に出会います。去年の4月にも、「部分日食」を見ることができました。昔であれば天変地異で、偶然に支配されたものとしか説明のできなかったことが、現在では日時分秒まで正確に予測することができます。その道の専門家が力を結集し、努力してきた結果だといえます。皆さんはどんな分野の専門家になるのか。その道で信頼される、確かな自分を築いてほしいと思います。

「日食」の話にもう少しこだわってみます。なぜ、「日食」という現象が起きるのか。太陽、地球、月の並び方の問題だけではなく、地球から見て、なぜ、月はちょうど太陽を覆い隠すのに、ぴったり同じ大きさなのか。これは、月の400倍大きな太陽が、月よりちょうど400倍遠くにあるからです。問題は、一体なぜ、そうになっているのか。そのため、地上では「皆既日食」や「金環日食」といった幻想的な現象が起こり、様々な物語が生まれています。その答えは、今のところ「たまたま」としか言いようがなく、途上の段階にあります。

大雨や台風の予測は、どんどん精度を増しています。その他自然災害の予測も、時間はかかりそうですが、今後精度を増していくものと思われます。ただし、月と太陽の見かけの大きさのように、論理で片のつかないことがあることも忘れてはいけません。こういう計り知れないものに対する畏敬の念と、それを味わう心のゆとりを持ってほしいと思います。何事も理屈で割り切れない、なぜかこうなっているということがあります。しかし、そこで変

に納得せず、疑問を持つこと、そして、とりあえず進んでいく中で、解明の鍵となるものを見つけ出そうと果敢に挑んでいく積極性、これを皆さんに大いに期待したいと思います。

さて、今日は皆さんの洋々たる未来を祝う日です。人類は他の動物と異なり、高度な文明を築きあげています。言葉や文字の発見はもちろんですが、その最初のきっかけとなったのが、二本脚で立ったことだと言われています。これは、自由に使える二本の手を持ったということに加え、頭の位置が上がり、「遠くを見る目」を持ったからだそうです。「遠くを見る」とは、意味の深い言葉で、遠くには良いことも悪いこともあります。

世の中は、ようやくコロナと共存する新たな局面に移行しました。皆さんが乗り越えてきた前例のない経験は、きっとこれからの財産になるはずです。そして、西高で培った人間力と「遠くを見る目」をさらに進化させ、「フォロワーシップ」と「探究心」を大切にしながら、たくましく生き抜いてほしいと願います。

服務規律委員会 2月22日(木)

外部委員の森岡潤子様をお迎えして令和5年度の第2回服務規律委員会を開催しました。令和5年度の服務規律に関する取り組みを各担当から報告し、学校として今年度の服務規律の取り組みの検証と、来年度の実施計画の検討を行いました。今年度も服務規律で報告すべき大きな事案はなく、大きく変化している教育現場に対応した取り組みができていたと思います。森岡様からは、職員研修等を通して職場の連帯意識が醸成されていることや時間超過勤務が大きく改善されたことへの評価と、今後とも個人の健康にも留意した職場づくりがなされることを期待しますという温かいお言葉をいただきました。来年度に向けて服務規律の取り組みをさらに徹底していきたいと思います。

【自律育成部主任 前田 敦広】

同窓会入会式 2月29日(木)

卒業式を翌日に控えた2月29日に第76回生の同窓会入会式が行われました。長澤同窓会副会長から、入会の歓迎と今後の活躍に対する期待を込めた挨拶をいただいた後、76回生の代議員となる森川日香莉さんが、これまでの同窓会からの支援に対する感謝の言葉と、今後新たに同窓生として西高同窓会の発展に貢献していく決意を力強く述べてくれました。次に、辻田花奈さんが入会者を代表して卒業記念品の印鑑を頂戴しました。入会式後に、来賓である東海同窓会本石会長、関西同窓会河野会長、福岡同窓会山田会長、在京同窓会川下会長、同窓会青年部赤木様から、祝福と各地区同窓会の活動についてお話いただきました。各地区とも多くの若手同窓生とともに様々な楽しい活動を行っています。今後は後輩の活躍を見守りながら、本校のさらなる発展に力を貸していただけることを期待します。

【同窓会事務局 西 恭秀】

同窓会支援費について

長崎西高同窓会は、さまざまな大会で活躍する部活動の更なる発展のために、毎年、支援費を贈呈する活動を行っています。令和5年度は、支援費を下記の部に贈呈することになりました。それぞれ、期待にこたえられるように、さらなる高みを目指してしっかり頑張ってください。

運動部 野球部・男子バスケットボール部・女子バスケットボール部・水泳部(水球)・カヌー部

文化部 生物部・物理部・放送部

【同窓会事務局 西 恭秀】

《卒業式の様子》



(卒業証書授与)



(送る言葉)



(別れの言葉)



第76回 卒業証書授与式 1日(金)

第76回卒業証書授与式が挙行され、271名の卒業生が慣れ親しんだ自律の園を巣立ちました。5年ぶりにコロナ禍による規制のない式となり、来賓、保護者、在校生、職員の出席のもと盛大に行われました。式では、担任から卒業生一人ひとりの名前が読み上げられた後、総代の朝長玲名さん(3年4組)に、初村校長から卒業証書が授与されました。初村校長は式辞の中で、「将来、各分野でリーダーシップを発揮し活躍する皆さんには、あえて『フォロワーシップ』の大切さを心に留めておいてほしい」ということと、「常に『探究心』を持ち続けてほしい」ということの2つをはなむけの言葉として送りました。そして最後に、「西高で培った人間力と、『遠くを見る目』をさらに進化させたくましく生き抜いていってほしい」と締めくくりました。在校生からの「送ることば」では、在校生代表の道山優香さん(2年1組)が「今日から先輩方は、それぞれの目標に向かって、それぞれの道を歩んでいかれます。その道の途中で、困難にぶつかり、迷い、立ち止まることもあるかもしれません。そんな時には、この西高で過ごされた時間を思い出して、自信を持って前に進んでください。」と、卒業生へメッセージを送りました。最後に卒業生代表の小瀬ひな子さん(3年6組)が「私はまだ卒業という実感がわかず、明日もまた通常通りの高校生活が続くような気がします。友達や先生方とやりたいことや話したいことがまだまだたくさんあり、名残惜しく、寂しい気持ちはありますが、それぞれの進路に向かって、一步一步進んでいかなくてはなりません。西高での思い出や経験を人生の糧とし、力強く漕ぎ出していきます。」と「別れのことば」を述べました。式終了後にPTA会長の三浦晃様から保護者を代表して謝辞をいただき、初村校長が卒業記念品へのお礼を述べた後、在校生からソナーポケットの歌「花」の合唱が送られました。その後退場した卒業生は、各教室で最後のホームルームを行い、叡智が薫る若々し学舎を後にしました。

【総務部主任 植木 正明】

校内競技大会 12日(火)

今年度の締めくくりの行事として後期校内競技大会が実施されました。今のクラスでの最後の大舞台で、どのクラスも優勝を目指して頑張っていました。行われた競技は男女サッカー、男女バレーボール、女子バスケットボール、女子バドミントン、男子卓球、男子気配斬りです。必死にプレーする姿はもちろん、仲間とともに応援する姿が見られたことがとても印象的で、1年間をともに過ごしてきた重みを感じました。勝ち負けに関わらず、まさに全員が輝く1日だったと思います。最後に、この行事の成功は生徒会役員、体育委員の尽力あってこそそのものです。準備から当日の運営まで、本当にありがとうございました。

【自律活動部 樋渡 彩音】



第13回科学の甲子園全国大会

3月15～18日の4日間、本校2年生8名が、茨城県つくば市で行われた第13回科学の甲子園全国大会に長崎県代表として出場しました。筆記競技と実技競技(地学、化学、総合)の合計4種目があり、多くのイベントも行われました。実技(総合)は当日与えられた時間の範囲内(32～36秒)でその場で制作したバルーンを昇降運動させるというものでした。上位入賞とはなりませんが、全国の代表チームと交流を深めることもでき、とても充実した4日間になりました。応援ありがとうございました。

【SSH企画推進部 吉岡 香菜子】



学年だより

第1学年 一眸^{ひとみ}をあげよ 涯^{はて}遠くー

たいへんお世話になった76回生の先輩方が西高を卒業しました。卒業生の今後益々の活躍を祈念するとともに先輩方が築いて来られた歩みをより充実したものにできるよう、78回生共々努めたいと感じています。

さて、3月も残すところわずかとなりました。いよいよ2年生が目前です。2年生ではそれぞれの将来設計に基づいて文系・理系に分かれ、より高度な専門科目が始まります。西高生の求める広さと深さを具現化するハイレベルな授業を楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか。

校長先生の「燃えろッ!」の一言から私たちの西高が始まりました。一年間を振り返ってみて熱く燃えた体験はありましたか。何かに熱中した人にとっても、なんとなくくすぶっていた人にとっても同じく一年間が過ぎていきました。

そして、少しずつではあるけれど、自分たちの本番が近づいています。その本番は順番に必ず廻ってくるもので、かつ一瞬です。瞬刻間に過ぎていく自分にとっての勝負所。この機を逸してはいけません。その機をモノにするためには膨大な準備が必要なこともわかっていると思います。

「眸をあげよ涯遠く」校歌冒頭の一節です。改めてその視線を上げて真っ直ぐに前を、自分の未来予想図をイメージしてみましょう。まだまだ遠い出来事のように感じられるその未来は、今の現実と切り離されて存在しているわけではありません。必ず今の自分の立ち位置と将来の私は繋がっています。今を大切にしましょう。今を充実させること。その繰り返しが自分の歩みを確かなものにします。次の学年で今この瞬間を誠実に生きる皆さんに大きな期待を寄せ、一年間の振り返りとします。

保護者の皆さまへ

78回生が入学して以来、生徒たちの姿を温かく見守っていただき感謝申し上げます。これからも高い理想の実現に向け、生徒とともに努力していきたいと考えています。一年間本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

【第1学年主任 石橋 可巳】

第2学年 ールーティンの確立ー

早いもので入学式から約2年が立ちました。当時の記録写真等を見ると、まだあどけなさが残る77回生も、日々の学習や様々な活動を通して大きく成長しました。各種表彰など目立った実績だけではなく、朝早く登校して学習をしたり、さまざまな葛藤を抱えながら粘り強く登校したりするなど、個々に成長の見られた2年間だったと思います。また、修学旅行が久々のベトナムでした。「なぜベトナム?」「あまり気が乗らない」「不安だ」と言っていた生徒たちが、現地では、良い表情を浮かべていたのが印象的でした。「何事もまずはやってみる、経験してみる」ことの重要性を理解してもらえたのではないのでしょうか。

さて、最高学年を迎えるにあたり、再度、目標の確認と現在の取組の検証が必要です。2年生に進級してすぐの学年集会では、目標設定の大切さについて話をしました。まずはゴールを「決める」。それから逆算して、目標達成に向けて必要なこと(ルーティンワーク)を日々の生活に落とし込むことで成果が出やすいという話です。ぜひ、日々のルーティンワークが確立した否かを振り返ってみてください。

保護者の皆さまにおかれましては、これまでの学年の取組や、学校行事等へのご理解とご協力本当にありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

【第2学年主任 宗田 将平】

大学合格状況 3月11日（金）現在（国公立大学前期試験発表まで）

令和6年度入試（W76）合格状況

大 学 名	現役計	既卒計	総計
東 京 大	4	3	7
京 都 大	4	2	6
九 州 大	23	6	29
大 阪 大	2	2	4
北 海 道 大	1		1
東 北 大		1	1
神 戸 大	4	2	6
難 関 大 計	38	16	54

長 崎 大	45	5	50
九 州 工 大	3		3
福 岡 教 育 大	4		4
佐 賀 大	2	1	3
熊 本 大	8	1	9
大 分 大	1		1
宮 崎 大	3		3
お 茶 の 水 女 子 大		1	1
埼 玉 大	2		2
千 葉 大	2		2
電 気 通 信 大	1		1
東 京 外 大	1		1
横 浜 国 立 大	2		2
名 古 屋 工 大		1	1
兵 庫 教 育 大	1		1
島 根 大	1		1
岡 山 大	3		3
広 島 大	3		3
山 口 大	4		4
国 立 大 学 計	124	25	149

大 学 名	現役計	既卒計	総計
長 崎 県 立 大	4		4
北 九 州 市 立 大	2	1	3
九 州 歯 大		1	1
新 潟 県 立 大	1		1
長 岡 造 形 大	1		1
兵 庫 県 立 大	1		1
岡 山 県 立 大	1		1
下 関 市 立 大		1	1
公 立 大 学 計	10	3	13

国 公 立 大 学 計	134	28	162
-------------	-----	----	-----

国 公 立 大 医 ・ 医	8	4	12
国 公 立 大 ・ 歯		1	1
国 公 立 大 ・ 薬	5	1	6

令和6年3月11日現在

大 学 名	現役計	既卒計	総計
慶 応 大	4	4	8
早 稲 田 大	3	5	8
上 智 大	1		1
東 京 理 大	2		2
国 際 基 督 教 大	1		1
明 治 大	3	10	13
青 山 学 院 大	1	1	2
立 教 大	5		5
中 央 大	5	2	7
法 政 大	2	2	4
津 田 塾 大	4		4
芝 浦 工 大	4		4
日 本 大	1	1	2
東 洋 大	4		4
駒 澤 大	1	1	2
専 修 大	1	1	2
関 西 大	7	1	8
関 西 学 院 大	4		4
同 志 社 大	7	1	8
立 命 館 大	10	8	18
西 南 学 院 大	24		24
福 岡 大	42	5	47
活 水 女 子 大	12	5	17
長 崎 純 心 大	19	6	25
長 崎 総 合 科 学 大		4	4
長 崎 国 際 大	5		5
長 崎 外 大	2		2
鎮 西 学 院 大	2		2
九 州 共 立 大	1		1
久 留 米 大	3	3	6
産 業 医 大	1		1
第 一 薬 大	2		2
筑 紫 女 学 園 大	2		2
西 日 本 工 大	1		1
福 岡 工 大	1		1
福 岡 歯 大	2		2
福 岡 女 学 院 大	2		2
福 岡 国 際 医 福 大	2		2
崇 城 大	2	2	4
そ の 他 私 立 大	49	12	61
私 立 大 学 計	244	74	318

防 衛 大 学 校	1		1
-----------	---	--	---

公 務 員	1	2	3
-------	---	---	---

離任される先生方より

【 】の中は、在職期間と転出先

❖ 尾崎 誠吾 教頭 【2年 長崎東高校】

長崎西での2年間はとても濃密で生徒の皆さんからエネルギーをもらった2年間でした。教頭という立場では、なかなか生徒の皆さんと話をすることはありませんでしたが、廊下でのちょっとした立ち話や、相談に来てくれた生徒とのおしゃべりは、とても楽しい時間となりました。これからも失敗を恐れず、新しいことに挑戦してください。お世話になりました。

❖ 大久保 耕造 教諭 【6年 長崎北陽台高校】

西高で6年を過ごすうち、世の中は大きく変わりましたが、そのなかで変わらない、明るく前向きで感性豊かな西高生たち。個性豊かで思いやりのある先生方や「生徒の為なら」といつも要望をかなえていただいた事務室の方々。協力的で一緒になって生徒を応援していただいた保護者の皆様。楽しい日々を過ごすことができました。ありがとうございました。学校は変わりますが、いつまでも皆さんのことを応援しています。

❖ 副島 俊彦 教諭 【13年 長崎北陽台高校】

13年間過ごしてきて、西高がどんどん好きになっていきました。皆さんや皆さんの先輩が悩みながらも様々なことを乗り越えて成長していく姿を見れたおかげです。みなさんが頑張る姿は、周囲のエネルギーになります。誰かのために役に立ちたいと思える時間は幸せでした。ありがとうございました。

❖ 石橋 周一郎 教諭 【7年 大村高校】

7年間大変お世話になりました。西高は様々な面で大きく変化したと思います。生徒のみなさんは自分の可能性を伸ばすために、自己分析をして、それぞれの自己実現に向け頑張ってください。

❖ 福岡 圭三 教諭 【15年 高校教育課県立学校人事班】

振り返ると、長いようで短い15年でした。15年間で西高も随分様子は変わりましたが、それでも生徒の皆さんの志の高さは、赴任した当時から全く変わりません。これからも、長崎県をリードする人材として、様々な場面で活躍することを期待しています。15年間大変お世話になりました。

❖ 窪田 弘毅 教諭 【3年 島原商業高校】

3年間お世話になりました。志の高い西高生のみなさんから学ぶことが多い3年間でした。これからもそれぞれの目標に向かって、歩んでください。応援しています。

❖ 石川 伸夫 教諭 【1年 諫早高校】

たったの1年間でしたが、お世話になりました。数学者の広中平祐氏は「生きることはそれだけで素晴らしい。その<生>を充実させるのは、人間だけの特権である。」と著書の中で述べておられます。これからも充実した生活をお互いに送っていきましょう。

❖ 江頭 恭子 副参事兼主任 【1年 諫早東特別支援学校】

1年間お世話になりました。あと2年西高でみなさんと一緒に過ごしたかったのですが、異動になりとても残念でいっぱいです。今後とも西高生みなさんの活躍を期待しています。

❖ 北村 直輝 主事 【4か月 五島高校定時制】

短い間でしたがありがとうございました。西高で過ごした日々は絶対に忘れません！まだどこかで会いましょう。みなさんどうか山口龍二先生をよろしく頼みます。

❖ 入口 涼 SSH事務補助員 【2年 長与町立児童館】

皆さんが楽しそうに実験に取り組む姿を見るのが大好きでした。デグーやゲンゴロウ、ウツボカズラ、ハエトリソウなどのお世話に来る生徒さんたちとのおしゃべりもとても楽しかったです。2年間ありがとうございました。

今年度も、現役生・既卒生ともに多くの合格を勝ち取ることができました。今後も本校ホームページで随時結果を更新していきますので、ご確認ください。

【進路指導主事 福岡 圭三】